

Cisco TelePresence Serial Gatewayにおけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性



アドバイザリーID : Cisco-SA-20150709- [CVE-2015-](#)

CVE-2015-4253

[4253](#)

初公開日 : 2015-07-09 20:33

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [4.3](#)

回避策 : No Workarounds available

Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco TelePresence Serial Gatewayシリーズの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者が望ましくないアクションを実行する可能性があります。

この脆弱性は、クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)による保護が不十分であることに起因します。攻撃者は、Webアプリケーションのユーザをだまして有害なアクションを実行させることで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。

シスコはこの脆弱性を確認していますが、ソフトウェアアップデートは提供されていません。

この脆弱性を不正利用するために、攻撃者は、悪意のあるサイトにユーザを誘導するためのリンクを提供したり、誤解させる言葉や指示を使用して、提供されたリンクに進むようにユーザを促す可能性があります。

該当製品

シスコは登録ユーザ向けにBug ID [CSCuu90728](#)をリリースしました。このIDには、詳細情報と、影響を受ける製品バージョンの最新リストが含まれています。

脆弱性のある製品

このアラートが最初に発行された時点では、Cisco TelePresence Serial Gatewayソフトウェアリリース1.0(1.42)に脆弱性が存在していました。Cisco TelePresence Serial Gatewayソフトウェアの新しいリリースにも脆弱性が存在する可能性があります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

ソフトウェアのアップデートが入手可能になった場合は、適用することを推奨いたします。

不審な送信元や認識されていない送信元からの電子メールメッセージを開かないよう推奨します。電子メールメッセージに含まれるリンクや添付ファイルが安全かどうかを確認できない場合は、開かないことをお勧めします。

影響を受けるシステムを監視することを推奨します。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアの更新プログラムは利用できません。

推奨事項

`$propertyAndFields.get("recommendations")`

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20150709-CVE-2015-4253>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初版リリース	適用外	Final	2015年7月9日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者に

あるものとしします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。